

地衣類の学校周辺の分布

井田岳史 小林大介 島田薫 齋藤みずき 溝上健太
 東京都立戸山高校 1学年 SSH 探究基礎講座

1. 動機

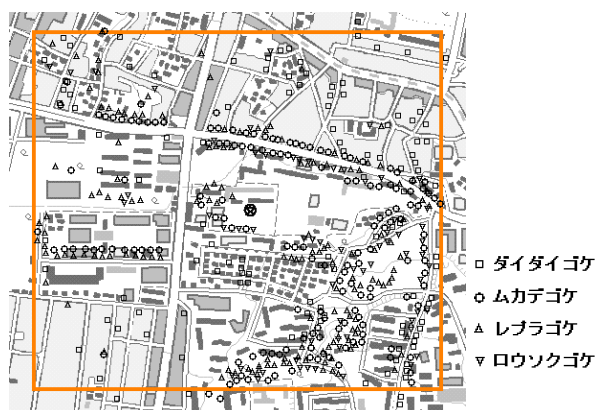
夏の長野県入笠山合宿で地衣類を見る機会があり、学校周辺における種類と分布が気になっていた。

2. 目的

学校周辺の地衣類を調べ、種類ごとの着生と分布の違いを比較する。

3. 調査概要

- ① 戸山高校を中心とした1 km²を調査範囲とした。
- ② 道の端から1m以内にある地衣類を観察・採取した。
- ③ 地衣類の着生している場所、基物を記録した。
- ④ 形態観察、呈色反応、顕微化学的検出法により属まで同定した。



学校周辺の地衣類の分布

4. 結果

- ・4種類の地衣類が確認できた。
- ・主にコンクリート、木、石に着生していた。
- ・ダイダイゴケはコンクリートで多く見られ、その他のものは木で多く見られた。
- ・1つの基物に複数の地衣類の着生する場合(同居)が見られた。

基物ごとの着生状況

	石	木	コンクリート	計
ダイダイゴケ	3	2	115	120
ムカデゴケ	5	159	21	185
レプラゴケ	4	108	12	124
ロウソクゴケ	5	52	13	70
不明	0	0	3	3
計				502

諏訪通りの同居状況

	歩道側	車道側
ムカデ・レプラ	18	31
ムカデ・ロウソク	4	13
レプラ・ロウソク	0	11

5. まとめ

- ・ダイダイゴケと残りの3種類では着生基物に違いが見られた。
- ・地衣類の分布の仕方は基物の分布と関係している。
- ・同居する種類に見られる組み合わせの傾向を推定した。